

2005年8月23日

合気道演武大会 “アルゼンチンと日本の架け橋” について



猛夏の候、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。この度、アルゼンチン大使館とアルゼンチン館主催により、下記のとおり合気道演武大会 “アルゼンチンと日本の架け橋” を行います。日本のすばらしい伝統武道のひとつである合気道を通して、両国の異文化交流の発展につながることを目的として開催いたします。

日時 : 2005年8月29日 (月) 12:00 ~ 14:00

場所 : 2005年愛知万博 長久手会場 愛・地球広場

合気道は、開祖植芝盛平翁（1883～1969）が日本伝統の武術の奥義を究め、さらに厳しい精神的修行を経て発展させた現代武道です。合気道の目的は、競技ではなく、お互いの習熟度にあわせて技を繰り返し稽古し、心身の練成を図ることです。日本国内にとどまらず世界的広がりを見せている合気道の海外普及は1950年代から始まり、現在では約88カ国において支部道場が開設されています。合気道がわずかの期間に全世界へ広がったのも、心身練成の道として人種、国境を越えて認められたからです。



アルゼンチンへ合気道は40年前に紹介され、今日に至るまで合気道を通して、日本文化を浸透させてきました。この度開催させていただく、合気道演武大会“アルゼンチンと日本の架け橋”は、アルゼンチンと日本の友好関係をさらに強めることができる素晴らしい機会になると考えております。

現在、愛・地球博のアルゼンチン館で秘書官として勤務しているセバスティアン・バルディは12年前から合気道が続けており、二段の腕前です。合気道に対する彼の情熱と献身は、彼が12歳であった1993年に遡ります。彼が18歳の時、2000年3月から1年間、日本語の勉強と合気道の稽古に専念するため日本へ留学し、見事に合気道初段を取得しました。

2000年～2001年 石川県

2002年～2005年 アルゼンチン・ブエノスアイレス、マル・デル・プラタ

2005年 愛知県名古屋市 田代道場にて和田師範の下で稽古を続ける

1995年 藤田師範による合気道セミナー (アルゼンチン・ブエノスアイレス)

1996年 河合師範による合気道セミナー (ブラジル・サンパウロ)

1997年 藤田師範による合気道セミナー (アルゼンチン・ブエノスアイレス)

1998年 河合師範による合気道セミナー (ブラジル・サンパウロ)

1999年 藤田師範による合気道セミナー (アルゼンチン・マルデルプラタ)

2000年 藤田師範による合気道セミナー (富山)

磯山師範による合気道セミナー (石川)

2001年 ★山田師範による合気道セミナー (アルゼンチン・ブエノスアイレス)

2003年 ★藤田師範による合気道セミナー (アメリカ合衆国・コロラド州・デンバー)

2005年 ★藤田師範による合気道セミナー (アルゼンチン・ブエノスアイレス)

第43回 全日本合気道演武大会 (東京)

植芝道主による合気道セミナー (名古屋市)

★ (師範の通訳担当)

彼は2001年3月に日本での留学を終え、アルゼンチンに帰国した後も、現在に至るまで日本語の勉強を続けています。アルゼンチンと日本の交流がさらに強まることを常に願っています。この合気道演武大会には、合気会本部道場の藤田昌武師範と東海合気道連盟会長の和田昭師範を特別にご招待しております。